

新型コロナウイルス感染症患者（5、6、7例目）の発生について（第1報）

1 経緯等

令和2年3月31日（火）、新たに新型コロナウイルス感染症を疑う患者3名が広島市内の医療機関を受診している旨の連絡があり、これら3名について本市衛生研究所が検査を実施したところ、4月1日（水）に全員陽性であることが確認され、現在、感染症指定医療機関に入院中である。

2 今後の対応

- ・患者3名はいずれもプライバシーに係る事項の公表を拒否しているが、それぞれ行動歴については確認できることから、これをもとに、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し、患者との接触状況や健康状態についての把握など、逐次、積極的疫学調査を実施しているところである。
- ・更に患者の詳細な行動歴の確認を行った上で積極的疫学調査を行い、その結果をもとに、当該濃厚接触者に対する、健康観察（毎日の体温確認等）と、必要に応じてPCR検査を適切に実施することとしている。
- ・この調査により把握した感染拡大防止のために必要な情報は、速やかに市民に広く提供することとしている。国内では感染者数の増加とともに、感染経路が不明な感染者や集団感染事例が報告されており、さらなる感染拡大が懸念されている。市民の皆様には、引き続き、咳エチケットや手洗いの励行など感染予防対策にご協力をいただきたい。